

楽器製造業の財務分析

2017年4月19日

財務診断研究会

中小企業診断士 城南支部所属

後藤 昭洋

目次

1. 楽器製造業の状況
2. 分析 3 社の紹介
3. 個人演習
4. フォローアップ
 - ・ 3 社の財務の特徴
 - ・ Q & A



1. 楽器製造業の状況

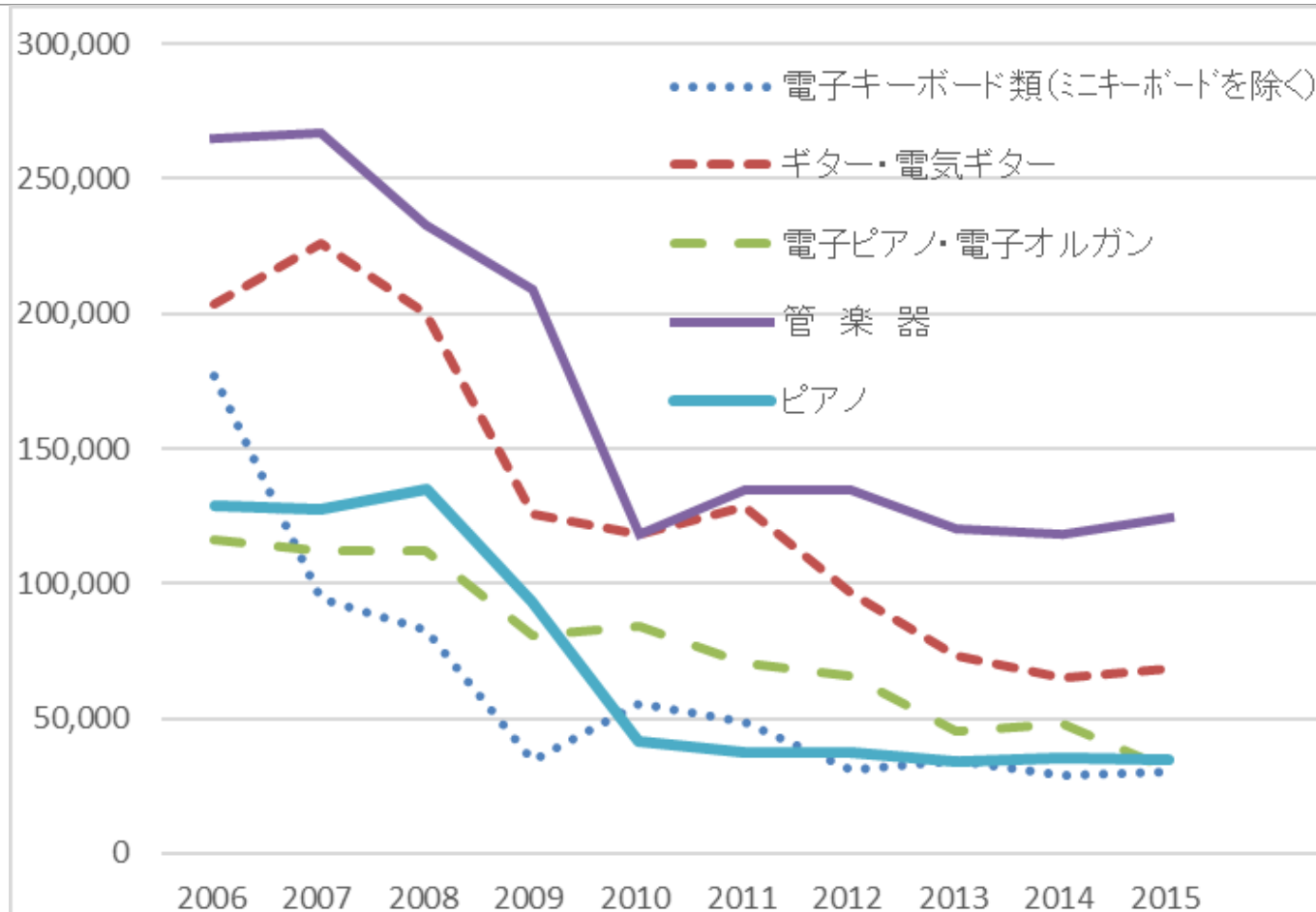


▶ その他製造業の分類に含まれる

32		その他の製造業
32	320	管理，補助的経済活動を行う事業所（32その他の製造業）
32	321	貴金属・宝石製品製造業
32	322	装身具・装飾品・ボタン・同関連品製造業（貴金属・宝石製を除く）
32	323	時計・同部分品製造業
32	324	楽器製造業
32	324	3241 ピアノ製造業
32	324	3249 その他の楽器・楽器部品・同材料製造業
32	325	がん具・運動用具製造業
32	326	ペン・鉛筆・絵画用品・その他の事務用品製造業
32	327	漆器製造業
32	328	畳等生活雑貨製品製造業
32	329	その他（煙火製造、看板・標識機製造・パレット・模型など）

1. 楽器製造業の状況

▶リーマンショック、震災、消費税上昇など一時的増減もあるが、国内の生産量は減少傾向



2009 リーマンショック
2010 エコポイント
子供手当
2011 東日本大震災
2014 消費税増税

■過年度楽器別生産量推移

経済産業省生産動態統計年報

繊維・生活用品統計編

1. 楽器製造業の状況



▶ 現在、国内の楽器製造業で株式公開している会社は2社のみ

	売上高 (億円)	従業員 (人)	本社 所在地	株式公開	主な事業	年度
1 ヤマハ株式会社	4,355	20,348	静岡県 浜松市	東証一部 上場	楽器の製造販売、音響機器製造販売 他	H28年3月
2 ローランド株式会社	856	2,945	静岡県 浜松市	H26年10月 上場廃止	電子楽器、電子機器およびそのソフト ウェアの製造販売	H26年3月
3 株式会社河合楽器製作所	692	2,868	静岡県 浜松市	東証一部 上場	楽器の製造販売他	H28年3月
星野楽器株式会社	109	132	愛知県 名古屋市	非上場	弦楽器・打楽器・電子楽器の企画設 計・開発業務	H28年10月
フジゲン株式会社	51	288	長野県 松本市	非上場	①エレキ・アコースティックギ ター・ウクレレ製造②輸出車用ウッ	H28年4月
株式会社コルグ	非公開	290	東京都 稲城市	非上場	電子ピアノ、シンセサイザーなど電 子楽器の開発、製造	
パール楽器製造株式会社	非公開	134	千葉県 八千代市	非上場	打楽器・フルートの製造・販売	H27年3月
株式会社村松フルート製作所	非公開	非公開	埼玉県 所沢市	非上場	フルートの製作	
株式会社フェルナンデス	非公開	非公開	東京都 新宿区	非上場	オリジナルギター製造	
鈴木バイオリン製造株式会社	非公開	非公開	愛知県 名古屋市	非上場	バイオリンを中心とする弦楽器の製 造	

1. 楽器製造業の状況

▶ 最近の業界Newsでは、海外とのビジネス対応が目立つ

2017年2月 河合楽器は、香港の楽器生産販売大手のパーソンズ・ミュージック
コーポレーションと資本業務提携。同社は河合楽器の筆頭株主に。
中国の市場開拓がねらい

2017年2月 ヤマハは、インドとインドネシアに100億円規模の新工場を設立する
と発表。将来は中近東、アフリカへの商品供給を狙う

2017年2月 日本音楽著作権協会は、音楽教室から著作権の使用料を徴収する方針を
固めた

2016年12月 ヤマハはシニア向け合唱教室を増やす計画

2016年12月 河合楽器は、アメリカ ヒューストンに海外直営1号店を出店

2016年11月 オンキヨーと河合楽器は、電子ピアノを共同開発、資本業務提携

2. 分析3社の紹介



▶ 楽器の製造販売に加えて、音楽教室や他分野の製造も事業化している

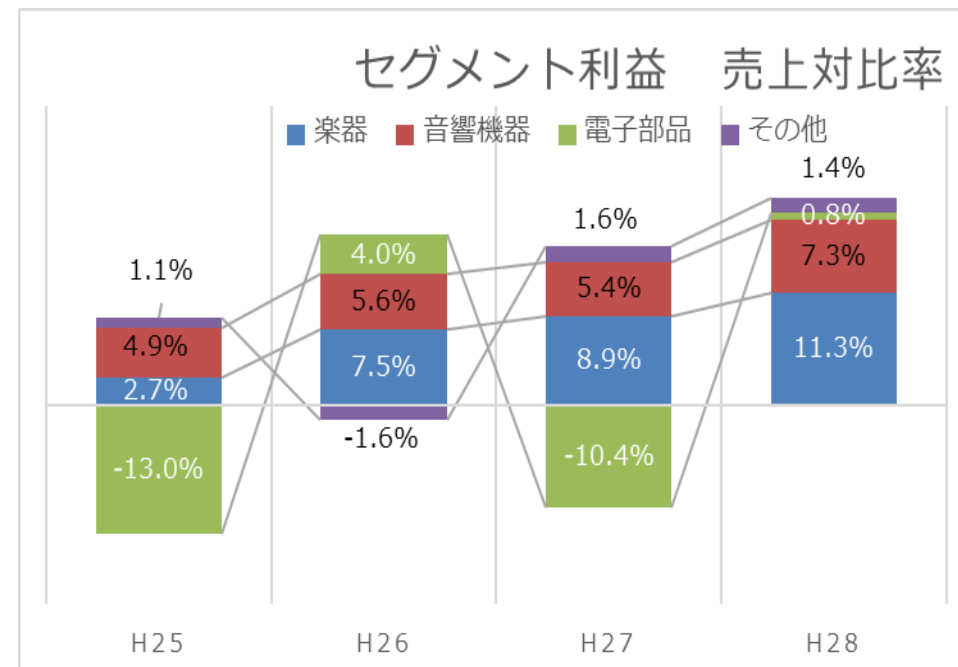
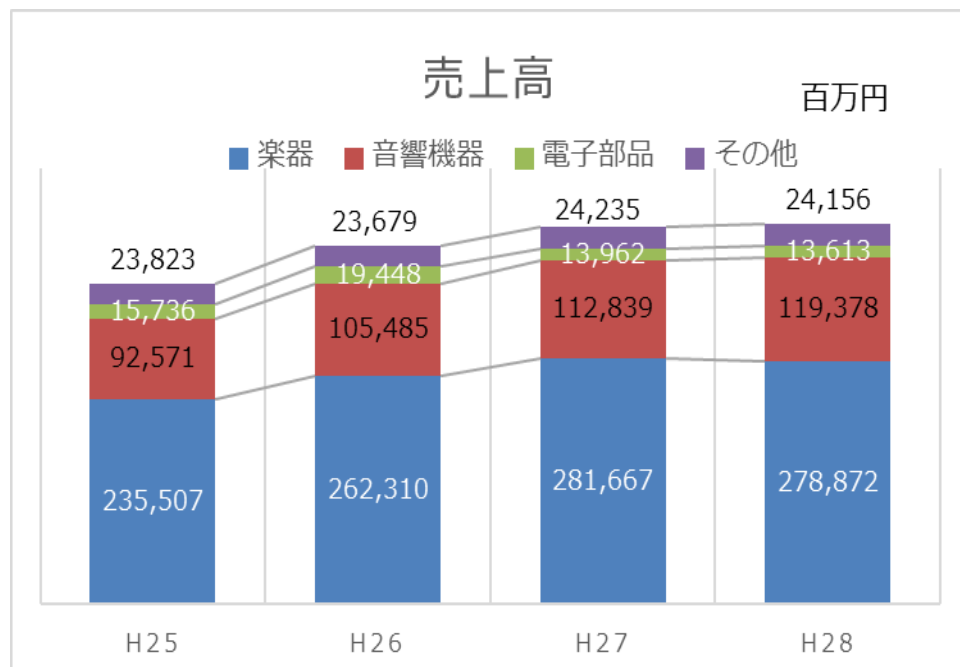
企業名	ヤマハ株式会社	ローランド株式会社	株式会社河合楽器製作所
所在地	静岡県 浜松市	静岡県 浜松市	静岡県 浜松市
創業/設立	明治30年10月設立 オルガンの製造 連結子会社73社、関連会社6社	昭和47年4月設立 ギターアンプの製造 連結子会社32社	昭和2年8月 ピアノの製造、販売 連結子会社24社
事業内容	1) 楽器事業（楽器の製造販売、音楽教室、音楽ソフト事業） 2) 音響機器事業 3) 電子部品 4) その他（リゾート、ゴルフ用品等）	1) 電子楽器の製造販売 2) コンピュータ周辺機器（プリンター・プロッター・工作機器等）の開発・製造・販売	1) 楽器の製造販売 2) 教育関連（音楽教室、教材販売等） 3) 素材加工（電子電気部品の金属材料加工、自動車部品の材料加工） 4) 情報関連（IT機器の販売保守）
売上高（億円）	4355 H28.3月	856 H26.3月	692 H28.3月
従業員（人）	20,348	2,945	2,868
課題	ブランド力の強化と、その成果としての利益率の向上を目指す ① 楽器事業のさらなる収益力向上 ② 音響機器事業の成長 ③ 部品・装置事業の基盤確立	① Low-cost operation 収益力の改善、基盤作り ② Glocalization 地域対応の強化 ③ Innovation 製品力の強化	① 楽器、教育事業での収益体質の強化 ② 品質向上と将来を見据えたモノづくり ③ 素材加工事業の拡大 ④ 資本効率の向上

2. 分析3社の紹介 ヤマハ



▶ 売上高、セグメント利益ともに楽器が稼ぎ頭

- ・ 売上高では、楽器が全体の6割を占める。続いて音響機器が3割を占める。
- ・ 利益率では、楽器が11%と最も高く、年々上昇している。
- ・ 電子部品は年によって上下している。

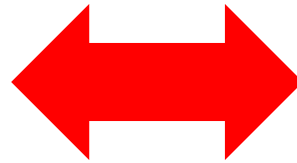


2. 分析3社の紹介 ローランド

▶ 2014年7月にMBOを実施、同年上場廃止。創業者と対立が続いた。

- ・ 2014年5月 常若コーポレーションによる普通株式公開買い付けを発表
- ・ 2014年7月 1840万株（発行済み株式82.9%）の応募があり、MBO成立。
財団はMBOに応じず。

三木社長
（常若コーポレーション）
4期連続最終赤字
構造改革をスピードを上げて実
施する



タイヨウファンド
： 米国系投資ファンド
当時7.7%の株式保有

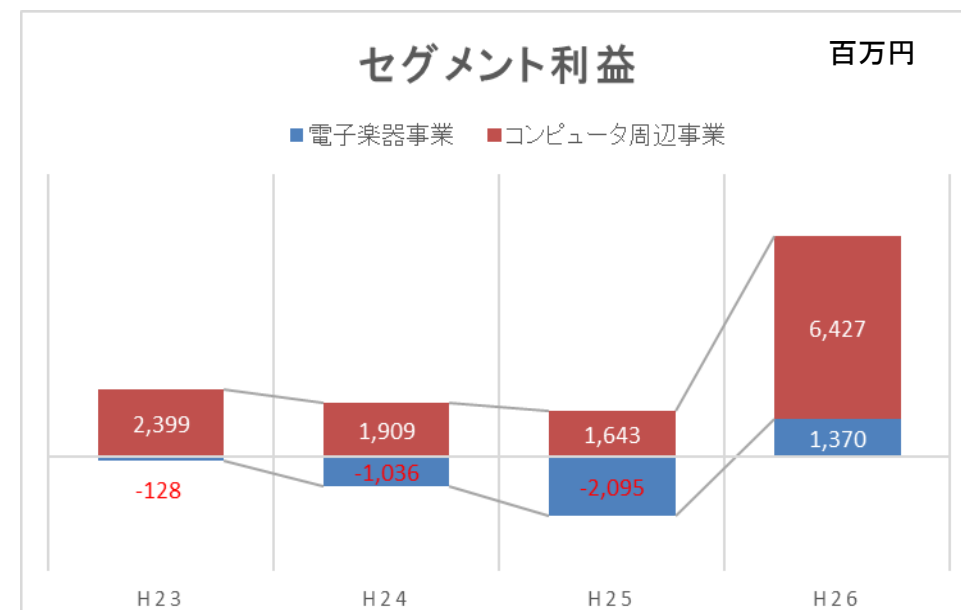
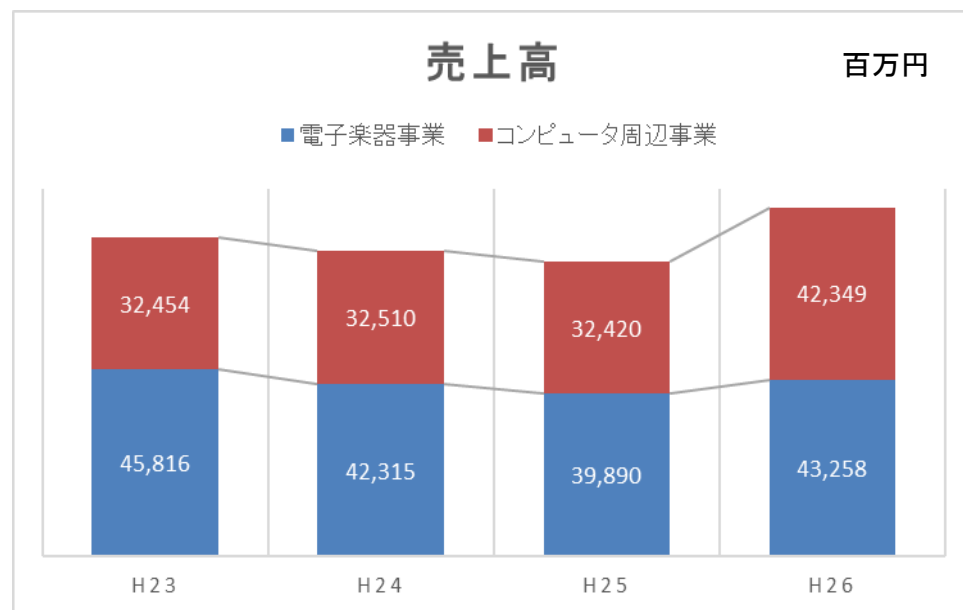
（故）梯（かけはし）郁太郎氏
： 創業者
ローランド筆頭株主のローランド
芸術文化振興財団の代表
ファンドによる再建に不信感

2. 分析3社の紹介 ローランド



▶ 電子楽器事業は苦戦、コンピュータ周辺事業は安定

- ・ H23からH25にかけて、電子楽器事業は減収と赤字が継続。
- ・ 上場企業のローランドディー・ジーによるコンピュータ周辺事業は売上、利益ともに安定している。H28年12月期では441億円の事業規模に。
- ・ 海外の売上構成が8割を超え、為替影響を受けやすい。H26は円安影響が大きい。

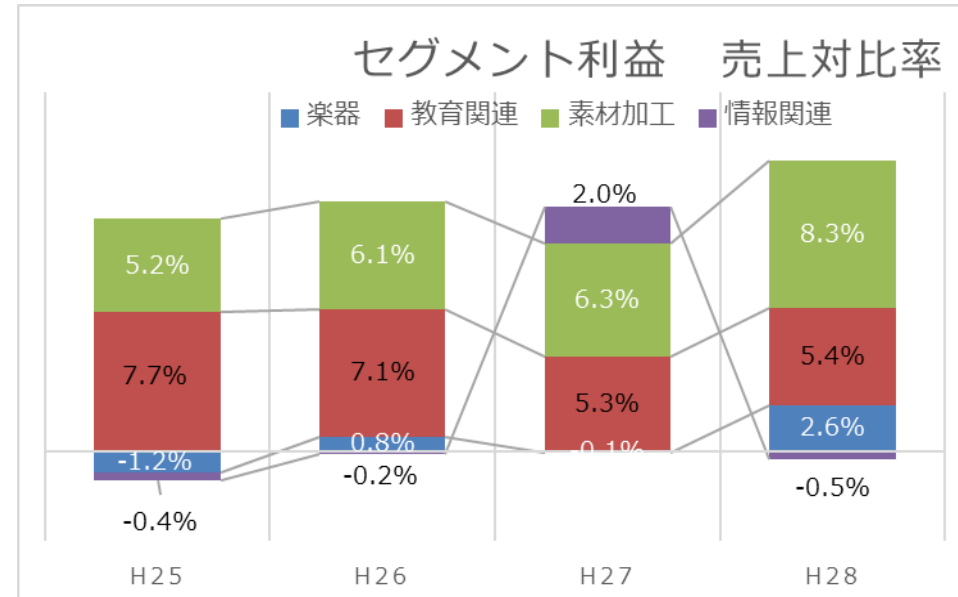
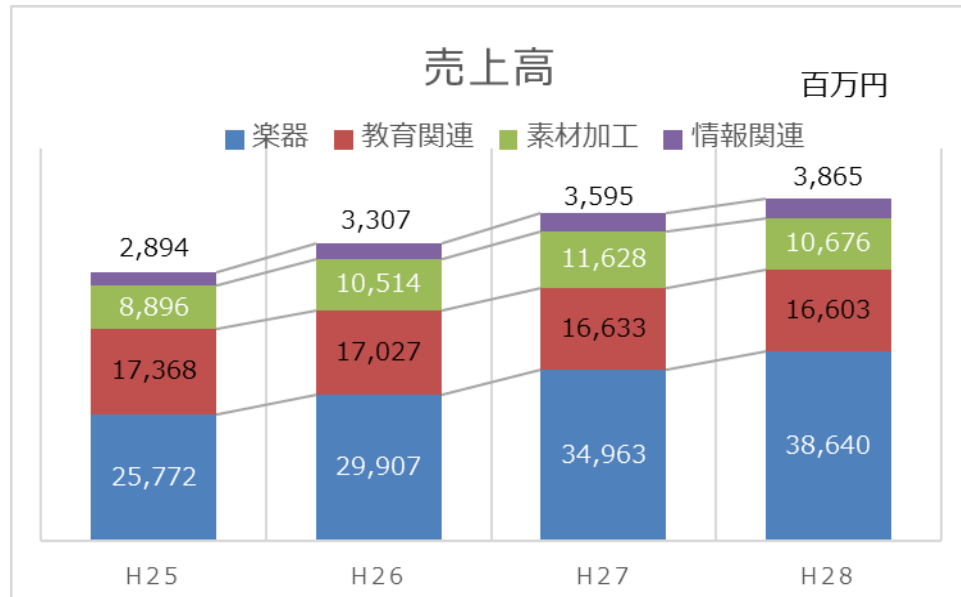


2. 分析3社の紹介 河合楽器



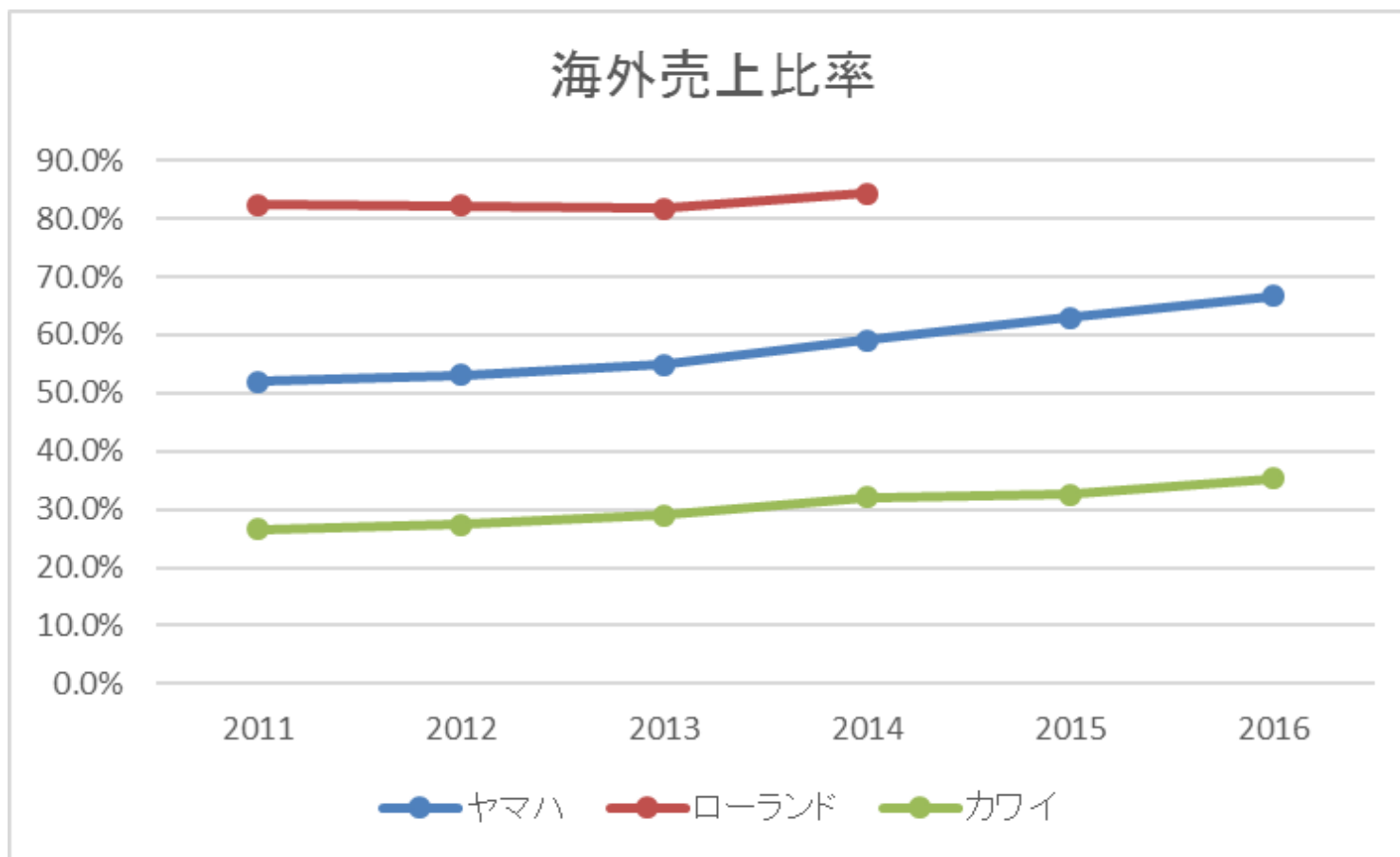
▶ 楽器が、全体の半数以上を占めているが、楽器の利益率が低い。

- ・ 売上高では、楽器が全体の半数以上を占める。続いて教育関連が2割を占める。
- ・ 楽器は、ピアノ販売が好調で、海外だけでなく国内も増収が続いている。
- ・ 教育関連は、音楽教室の生徒数の減少で売上は減少傾向だが、利益率は、運営効率改善の取り組みにより、H28年3月期では増益を示す。



2. 分析 3 社の紹介

▶ 海外売上の比率が高い。特にローランドは 8 割を超えている。



3. 個人演習 (15分)

▶ 3社から1社を選び、財務諸表から読み取れる各社の強みと経営課題を分析する

	着目した経営指標	強みや経営課題
1		
2		
3		
その他気づいたことや疑問点		
・		
・		

終了後、分析内容を周りのメンバーと共有していただきます。

4. フォローアップ 3社の財務の特徴

▶ 私なりに分析した内容を別紙にて紹介します。

4. フォローアップ Q&A

